海外留学渡航前オリエンテーション

ワクチン接種の重要性について

安全に海外で過ごすために

ワクチン接種の基本を学びましょう



ヘルス＆ウェルビーイング トータルサポート室
保健室

1.ワクチンの仕組み

ワクチンとは、病気の原因になるウイルスや細菌に対して、体があらかじめ防御できるようにするための薬です。



ワクチンを接種

身体の免疫システムが病原体を学習し、対処法を練習する

実際に感染

病原体が体内に入ったときに素早く攻撃できる

回復

感染そのものや重症化を防ぎやすくなる

ワクチンを接種すると、体の免疫(病気から守る仕組み)が「敵の特徴」を覚えます。
そのため、実際にその病原体に感染したときに、素早く対抗できるようになります。



ワクチンは「避難訓練」のようなものです

2.ワクチンのメリット



病気にかかる
リスクを下げる



重症化を防ぐ



周囲の人への
感染拡大を防ぐ



海外渡航時に
必要な感染症
対策になる

3.渡航前に知っておくべきポイント

1 海外渡航前ワクチンには2つの目的がある

・入国時や留学などで求められる予防接種証明書を取得するため
・渡航先で感染症にかからないよう自分を守り、周囲への感染拡大を防ぐため

2 必要なワクチンは人により異なる

以下によって推奨ワクチンが変わります。

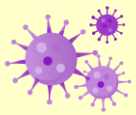
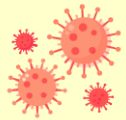
・渡航先の国・地域
・滞在期間
・渡航目的（観光、留学、赴任など）
・年齢や健康状態
・過去の接種歴

3 早めの準備が必要

・ワクチンによっては
2～3回接種が必要

・出発の3か月以上前から
トラベルクリニックなどで
相談することが推奨されています

4.特に注意すべき疾病

黄熱 	重症化すると数時間後から48時間以内に黄疸、出血、蛋白尿などの症状が現れる。 重症になった患者のうち、**20～50%の患者が死亡するといわれている**
狂犬病 	**発症するとほぼ100%死亡。**動物との接触が想定される地域では事前接種を検討
麻しん・風しん 	麻しん：感染力が非常に強く**免疫を持っていない人が感染すると100%発症**する。 肺炎や中耳炎を合併しやすく、脳炎の発症率および死亡率はいずれも約1,000人に1人といわれている 風しん：妊娠早期の女性が感染すると、胎児に重篤な影響を与える 先天性風しん症候群の原因となる
A型肝炎 	潜伏期間は平均4週間。 一般的に予後は良く慢性化することはないが、まれに劇症化することがある

・・・出発前にかならず確認しましょう・・・

- ✓ 母子健康手帳などで接種歴を確認する
- ✓ 渡航先の感染症情報を事前に調べる
- ✓ 医師と相談して、自分に必要なワクチンを決める



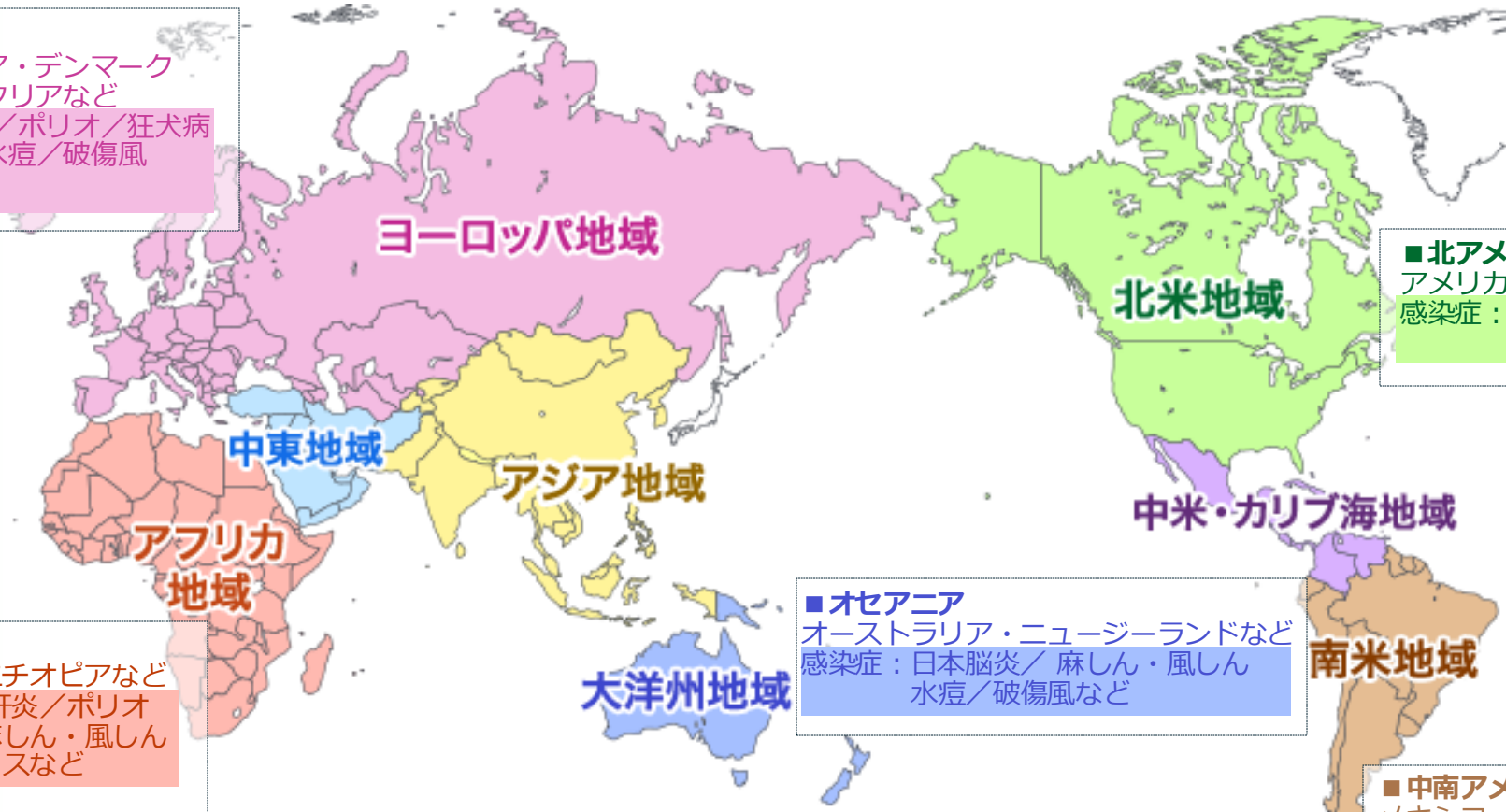
5.代表的な推奨ワクチン

ワクチン名	推奨される人
黄熱	感染リスクのある地域に渡航する人 入国に際して証明書の提示を求める国へ渡航する人
狂犬病	動物と直接接触し感染の機会が多い地域、特に医療アクセスがよくない地域へ行く人
A型肝炎	A型肝炎ウイルスに汚染された飲食物等を介して経口感染（糞口感染）するため、 衛生環境が心配な地域に渡航する人
B型肝炎	血液や体液に接触する（受診や性行為など含む）可能性のある人、 ポリオ流行地域に渡航する人
髄膜炎菌	流行地域に渡航する人、留学等に際して証明書の提示を求められる人、 学生寮や宿舎での共同生活を予定している人
ダニ媒介脳炎	流行地域の森林地帯へ渡航する人、草むらや藪などマダニが多く生息する場所へ行く人、 野外活動や屋外での仕事に従事する人
腸チフス	南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央アメリカおよび南アメリカなどの 一般に衛生水準の高くない地域に渡航する人
インフルエンザ	流行時期または流行地域に渡航する人
破傷風	破傷風菌は世界中の土の中に存在し傷口から感染するため、野外での活動が多い人
麻しん	疾患への免疫が不十分な人
風しん	疾患への免疫が不十分な人
ポリオ	流行地域に渡航する人、 ポリオに対する免疫が低いことが分かっている1975年～77年（昭和50年～52年）生まれの方
日本脳炎	流行地域に長期滞在する人（主に東南アジアでブタを飼っている農村部）

6. 予防接種の目安（地域別）

(ご参考) Appendix.1

■ヨーロッパ
フランス・ドイツ・イタリア・デンマーク
スウェーデン・ロシア・イタリアなど
感染症：A型肝炎／B型肝炎／ポリオ／狂犬病
麻しん・風しん／水痘／破傷風
ダニ媒介脳炎など



■北アメリカ
アメリカ合衆国・カナダなど
感染症：麻しん・風しん／水痘／破傷風
インフルエンザなど

■アフリカ
エジプト・ケニア・ガーナ・エチオピアなど
感染症：黄熱／A型肝炎／B型肝炎／ポリオ
狂犬病／髄膜炎菌／麻しん・風しん
水痘／破傷風／腸チフスなど

■オセアニア
オーストラリア・ニュージーランドなど
感染症：日本脳炎／ 麻しん・風しん
水痘／破傷風など

■中南アメリカ
メキシコ・ブラジル・アルゼンチン・チリなど
感染症：黄熱／A型肝炎／B型肝炎／狂犬病
麻しん・風しん／水痘／腸チフスなど

■アジア
中国・韓国・フィリピン・シンガポールなど
感染症：A型肝炎／B型肝炎／ポリオ／狂犬病
日本脳炎／麻しん・風しん／腸チフスなど

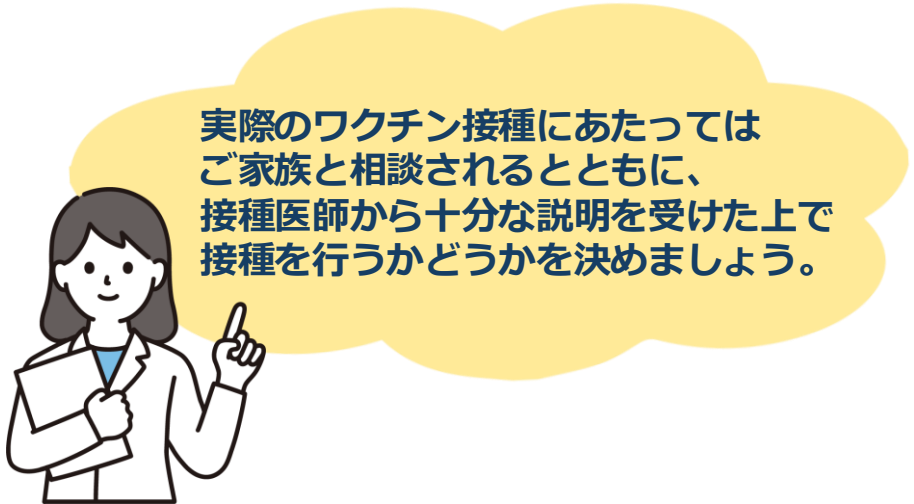
7.最後に

予防接種の計画は余裕をもって早めに！

予防接種は種類によって、数回(間隔を開けて2～3回)接種しなければならないものもあります。

- ✓ **なるべくはやく（出発の3か月以上前から）**
- ✓ **渡航先の感染症情報を収集し**
- ✓ **それぞれの予防接種について理解したうえで**

余裕をもった計画を立てましょう。



ワクチンの接種は
トラベルクリニックまたはかかりつけ医に
事前に確認しましょう。

保健室でも医療機関情報等を提供しています。
お気軽にご相談ください。

【開室時間】

平日	9:00～16:30
土曜日	9:00～13:30（授業期間中）

ヘルス＆ウェルビーイング・トータルサポート室
豊洲保健室

Appendix.1

各地域で感染リスクがありワクチンで予防や重症化の防止ができる疾患

地域	Area	黄熱	A型肝炎	B型肝炎	ポリオ	狂犬病	日本脳炎	髄膜炎菌	麻しん・風しん	水痘	破傷風	インフルエンザ	ダニ媒介脳炎	腸チフス
北アメリカ	Northem America								◎	○	○	○		
カリブ	Caribbean		○	○		○			◎	○	○	○		◎
中央アメリカ	Central America	(●※1)	◎	○		○			◎	○	○	○		◎
南アメリカ	South America	●	◎	○		○			◎	○	○	○		◎
中央アジア	Central Asia		◎	○	○	○			◎	○	○	○	○	◎
東アジア	Eastern Asia		◎	○		○	○		◎	○	○	○	○	◎
東南アジア	South-eastern Asia		◎	○	(○※3)	○	○		◎	○	○	○		◎
南アジア	Southern Asia		◎	○	○	○	○		◎	○	○	○		◎
西アジア	Western Asia		◎	○	(○※4)	○			◎	○	○	○		◎
豪州・ニュージーランド	Australia and New Zealand						○		◎	○	○	○		
メラネシア	Melanesia		○	○		○			◎	○	○	○		◎
ミクロネシア	Micronesia		○	○		○			◎	○	○	○		◎
ポリネシア	Polynesia		○	○		○			◎	○	○	○		◎
北アフリカ	Northern Africa	(●※2)	◎	○	○	○		(○※2)	◎	○	○	○		◎
東アフリカ	Eastern Africa	●	◎	○	○	○		○	◎	○	○	○		◎
中央アフリカ	Middle Africa	●	◎	○	○	○		○	◎	○	○	○		◎
西アフリカ	Western Africa	●	◎	○	○	○		◎	◎	○	○	○		◎
南アフリカ	Southern Africa		◎	○	○	○			◎	○	○	○		◎
北ヨーロッパ	Northern Europe								◎	○	○	○	○	
東ヨーロッパ	Eastern Europe		○	○	○	○			◎	○	○	○	○	
西ヨーロッパ	Western Europe								◎	○	○	○	○	
南ヨーロッパ	Southern Europe								◎	○	○	○	○	

●：黄熱に感染するリスクがある地域に渡航する場合は、渡航10日前までに予防接種が必要です
◎：疾患に感染するリスクがある地域に渡航する場合は、渡航前の予防接種の検討をお勧めしています
○：局地的な発生地域への滞在、感染リスクがある行程、渡航者のご年齢等の免疫状況等によって、渡航前の予防接種が検討されます
（接種には、混合ワクチンが使用される場合もあります。）
※1　パナマ
※2　スーダン南部
※3　一部の国
※4　一部の国

厚生労働省検疫所FORTH：https://www.forth.go.jp/index.html

Appendix.2



定期接種の記録は母子健康手帳などで確認することができます。
日本での接種年齢やスケジュールについては、
日本の予防接種スケジュール（国立健康危機管理研究機構（JIHS））をご参照ください。
https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/topics/040/schedule.html



日本国内で承認されているワクチンについては、
日本で接種可能なワクチンの種類（国立健康危機管理研究機構（JIHS））をご参照ください。
https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/topics/020/atpcs003.html



国内未承認ワクチンを接種して重篤な健康上の問題が生じた場合、医薬品副作用被害救済制度や予防接種健康被害救済制度の対象になりませんので、ワクチン接種により健康上の問題が出現したときの対応も含めて接種を受けようとする医療機関の医師等にご相談ください。

詳しくは厚生労働省ホームページ（FORTH）でご確認ください。
https://www.forth.go.jp/index.html



渡航の準備をしっかり行い
良い語学留学になるよう心がけましょう

ヘルス＆ウェルビーイング トータルサポート室
保健室